

分類 番号	A9	取組 名称	産業関連情報の総合的集約とそれを用いた地域産業情報支援および情報発信 産業支援サイトのあり方と活用方策
研究代表者所属・職名：		生命環境科学研究科・准教授	氏名： 岩崎 雅史
研究担当者： 京都府立大学（青山公三） 外部分担者・協力者（新庄雅斗氏、中村雅彦氏、北村研爾氏、松下直弘氏（ほか）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名） 城陽市役所商工観光課			
【研究活動の要約】			
<p>城陽市の産業に係わる情報を掲載した城陽市産業支援サイト(JoInT : <u>J</u>oyo <u>I</u>ndustrial-support & <u>p</u>romotion <u>T</u>ool)の一般公開に向け、前年度に引き続いて「地域産業界に対するヒアリング調査」「ヒアリング結果に対する数値分析」に取り組んだ。今年度のヒアリング調査で訪問した企業(個人事業主含む)は14社であり、前年度の44社をあわせると2年間で58社にのぼる。ヒアリング調査には文系と理系、大学関係者と市役所関係者の混成チームで臨んだ。ヒアリング結果をもとに企業ごとの特色をベクトルで、産業分野ごとの特色を行列で表した。ベクトルを長さやコサイン尺度の視点から比較することで、同業種間の類似度はもちろん、異業種間の類似度についても算出した。また、行列に対して特異値分解を施すことで、生産分野ならば「希少性」のような、産業分野ごとにJoInTにおいて強調すべきキーワードを明らかにした。</p>			
【研究活動の成果】			
<p>今年度の最大の成果物は12月11日から一般公開が開始されたJoInT(http://www.city.joyo.kyoto.jp/joint/)である。研究成果を活用した部分はおもに企業ごとの紹介ページである。どの企業の紹介ページも構成は同じで、企業名、キャッチフレーズ、大きな写真1枚、概要、特色の説明文+写真2枚を3組、基本情報、同業種リンク+写真1枚、異業種リンク+写真1枚からなる。9枚の写真のほとんどはヒアリングチームで撮影したものである。概要および特色の説明文は特異値分解で明らかにされたキーワードを意識しながら、ヒアリング調査で得られた情報をもとに作成したもので、キャッチフレーズはそれらを踏まえて考えたものである。基本情報は住所、営業時間、定休日、駐車場、電話番号のような閲覧者目線の情報に絞っている。基本情報の後にはJoInTの大きな特長である2つの企業間リンクを設けているが、これは次に閲覧するページを積極的にオススメするための仕組みである。1つ目は同業種、2つ目は異業種の企業間リンクであるが、ヒアリング結果に対する数値分析で得られた企業間の近さをもとに構築している。同業種だけではなく異業種も難なくリンクできたのは、企業ごとの特色を高次ベクトルの視点で客観的に分析したからだと考えられる。</p>			
【研究成果の還元】			
2019年12月10日	文化パルク城陽大会議室	京都城陽カンパニーネットワーク会員&城陽市役所関係者等60名	京都城陽カンパニーネットワーク会議
2019年12月11日	城陽市産業支援サイト JoInT	公開	
2020年1月31日	京都エレベータ株式会社会議室	サンフォルテ城陽ネットワーク会員&城陽市役所関係者等23名	サンフォルテ城陽ネットワーク会議
2020年4月	ジョーカン第5号(令和2年春号)	JoInT 特集ページ掲載予定	
【お問い合わせ先】 生命環境学部 応用数学研究室 准教授 岩崎 雅史 Tel: 075-703-5429 E-mail: imasa@kpu.ac.jp			

参考（イメージ図、活動写真等）



城陽市産業支援サイト JoInT の企業紹介ページの構成と同業種・異業種リンク



京都城陽カンパニーネットワーク会議でJoInTの設計思想や企業間リンクの仕組みなどを解説